

事業所名:こども発達LABO.Proリハ 東古松

公表:令和4年3月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	3	0	スペースが確保できる利用人数に調整している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	11	2	0	事業所間で応援体制を取り、必要な人員配置を随時行っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	バリアフリー化された設備になっている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	0	毎日に清掃に取り組んでいる。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0	11	2		自己評価シートを用いることで、職員が業務改善に努めていけるようにする。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	8	0	保護者等のアンケートは実施している。保護者からの相談に応じて、対策に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	0	13		評価結果をLITALICO発達ナビのブログにて開示する。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	13		理事との会議を行い、今後の対策を考えていく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	5	0	職員間の研修や、外部研修の参加の支援をしている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	2	0	保護者との面談や、子供に対する評価・分析を行ったうえで、支援計画の作成を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	0	0	JPANやJSI-Rなど、数値化できるアセスメントツールを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	2	0	アセスメントに加えて、ガイドラインを参照して支援計画を立てている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0		

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	0	0	毎回、担当者間で話し合っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	2	0	担当者間で話し合い、プログラムが固定化しないように努めている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	0	13	0	個別療育のみ実施しているため、個別活動にそった支援計画を作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	0	毎回、担当者間で話し合っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	0	0	毎回、担当者間で話し合っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	0	0	SOAP記載を行っている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	3	0	半年ごとにモニタリングを実施し、保護者面談を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	0	0	担当者が参加するようにしている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	0	6	7		必要に応じて、保健師、医療機関と連携を行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	13		医療的ケアが必要な方や重症心身障害児のある方の利用がないため。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	0	13		医療的ケアが必要な方や重症心身障害児のある方の利用がないため。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	5	0	必要に応じて随時共有を図っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	5	0	必要に応じて随時共有を図っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	8	0	必要に応じて随時共有を図っている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	13		新型コロナウイルス蔓延のため、積極的な活動は行っていません。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	0	13		新型コロナウイルス蔓延のため、地域の協議会の参加を控えていたため。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	0	0	毎回、相談時間を設けている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	5	6	毎回、相談時間を設けて、家族支援を行っている。	ペアレントトレーニングが行えるように職員研修を実施します。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	3	0	契約時に行っている。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13	0	0	個別支援計画書を用いて、支援計画の説明を行っている。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	3	0	随時相談支援を行っている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	13		新型コロナウイルス蔓延に伴い、感染防止のため保護者会など実施していない。今後の開催については、感染状況を考慮しながら検討します。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	0	管理者に報告・相談の上、迅速、適切に対応している。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	5	0	ブログの発信に努めている。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13	0	0		
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	0	0		
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	13		新型コロナウイルス蔓延のため、地域住民を招待するなどの活動や運営が不可能だったため。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	0	12	1	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	8	0	避難方法を計画・周知している。	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	11	2	0	契約時に確認している。必要に応じて随時保護者に確認している。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	5	8	0	契約時に、必要に応じて確認を行っている。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	8	0	ヒヤリハット報告書を作成し、共有、改善している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	8	0	職員の研修機会を確保している。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	0	6	7		身体拘束を行う必要性のある子供の利用がないため、計画記載は実施していないが、必要性があれば身体拘束マニュアルに沿って計画していく。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。